

第3号議案 令和2年度事業計画（案）

全 体

1 法人会員会費の増額

(1) 趣旨

当フォーラムの財務状況は、近年では消費増税はじめ諸経費の負担が増しているほか、会員数の漸減傾向に歯止めがかからないことから会費収入の減少が続いているため、積立金の取崩しや事業運営の硬直化等を招いている。

昨年度の運営委員会（11月、3月）において、財務基盤の健全化を目的とした会費の増額及び会員の拡大方策について検討を重ねてきた結果を踏まえ、設立以来据え置いてきた会費のうち法人会員の会費について、令和2年度分から増額のお願いを行うこととする。

(2) 増額依頼の方法

- ① 法人会員に対し、年額1万円以上の会費納入をお願いする書面を会長名で発出する。
- ② 個人会員にあっては年額一口1千円、法人及び団体の会員にあっては年額一口3千円（一口以上）と規定している現行規約は改正しない。
- ③ 会費の増額が困難な場合は、現行の年額一口3千円の納入にとどまることも許容する。

2 計画的な会員拡大の取組み

(1) 会員の現状

会員数は、平成19年の約5,400をピークとして漸減傾向に歯止めがかからない状況が続き、3,559（令和2年4月30日現在）まで減少しており、財務基盤の弱体化の一因となっている。

会員数の漸減傾向に歯止めをかけ、拡大を図るため、以下のような勧誘活動に取り組む。

(2) 勧誘ツールの整備

当フォーラム設立の原点とこれまでの成果を示すとともに、目標や将来像を語るができるような普及啓発ツール（パワーポイント、リーフレット）を整備し、PR活動において活用する。

(3) 勧誘活動計画

- ① 各市町村及び会員金融機関を訪問し、個人会員の勧誘協力を依頼する。（県へは実施済み）
- ② 法人会員の拡大を図るため、商工団体や業界団体を訪問し、傘下法人への勧誘協力を依頼するほか、ロータリークラブやライオンズクラブ、倫理法人会等に対しプレゼンテーション機会の提供を依頼する。
- ③ 会員勧誘活動は、事務局が計画的に実施するだけでなく、役員においても目標を立てて勧誘に努めるものとする。

(4) 会員拡大目標

令和2年度における新規加入会員数：個人会員100人、法人会員20社
（進捗に応じて目標は見直すものとする）

3 会員アンケートの実施

(1) 趣旨

美しい山形・最上川フォーラム設立（平成13年7月26日）以来この間、わが国の社会経済は大きく変貌し、地方の疲弊や地球規模での環境問題の深刻化が顕著となっていることなどを踏まえ、当フォーラムとして、改めて設立の原点に立ち返るとともに、今後数十年の将来を見据え、美しく元気な山形を次世代に引き継ぐ活動をさらに充実発展させていく方策を検討するため、会員を対象にアンケートを実施する。[別紙1](#)

(2) 実施方法

会費納入通知に同封し、ファクシミリまたはメール、インターネットアプリでの回答を依頼する。

(3) 活用方法

アンケートの集計結果をもとに、運営委員会において今後数十年を見据えた活動の指針となるプランづくりを進める。設立 20 周年を機会に広くアピールすることを目指す。

4 美しい山形・最上川サポーター(仮称)の創設

(1) 趣旨

- ① 美しい山形・最上川フォーラム設立 20 周年（平成 13 年 7 月 26 日設立）を契機として、会員に加え、当フォーラムの活動参加者を「サポーター」として認証する制度を創設し、これらの拡大運動を展開する。
- ② サポーターに認定証及びバッジ、ステッカー等を交付することにより、フォーラムの活動に対する継続的な参加意識を醸成するとともに、将来にわたるフォーラムの応援団として育成する。
- ③ サポーターの認証件数に数値目標を設定し、活動のバロメーターとすることにより、フォーラムの存在感を高め、活動の促進に資する。

(2) 制度の概要案

【認証要件】フォーラムの活動の趣旨に賛同し、具体的取組みを实践しており、フォーラムが主催又は支援する活動に参加している方々を幅広く認証する。

【認証方法等】申込書又はホームページからの申込みとし、認定証、バッジ、ステッカーを交付、参加年数に応じて、グリーン(1年未満)、ブロンズ(1年～)、シルバー(3年～)、ゴールド(5年～)、プラチナ(8年～)と更新する。



<バッジの例>

(3) 認証数の目標

美しい山形・最上川サポーター 1 万人構想を宣言し、5 年以内（2025 年まで）の達成を目指す。

(4) 準備スケジュール

設立 20 周年を迎える令和 3 年度（2021 年度）からの実施に向け、財源の確保など準備を進める。

清流・環境対策部会

1 身近な川や水辺の健康診断

(1) 実施予定期間

例年のように、世界環境デーに合わせ 6 月 6 日(土)～14 日(日)の原則の調査機関を設けるが、現在の諸事情を鑑み、10 月 23 日(金)までとし、安心安全に実施できるよう延長する。

(2) 参加申し込みは、原則の調査期間に合わせ、5 月 22 日(金)を設けるが、実施期間中随時申し込みを受け付ける。

(3) 実施検討会を開催し、実施体制など詳細について検討・決定する。

4 月 16 日(木)、2019 年度と同様に国・県の関係行政機関・地域部会・大学・地域で環境保全活に携わっている方々が参集しての検討会から変更し、書面により意見をいただき進める。

(4) 調査補助指導者の派遣

新規参加者や学校などで参加する場合に、要望があれば、地域部会や会員専門機関にご協力いただき、事前講習や現地調査補助を行う。

(5) 水生生物調査

例年どおり、主催の山形県環境科学研究センターと連携し、希望グループについては、「身近な川や水辺の健康診断」との同時申込可能として募集する。

(6) 透視度計

例年どおり、各地域において貸出担当者・場所についてご協力をいただき、参加者からの申し込み順に調査期間中貸出す。

- (7) CODについては、国土交通省と市民団体が連携して実施する「身近な水環境の全国一斉調査」の一環として50地点分の器材の提供を受け、調査結果50地点分を提出予定。
- (8) 調査結果集計は引き続き、公益社団法人山形県水質保全協会の協力を得て「水辺診断書」としてレーダーチャートを作成する。

2 美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン

- (1) 実施予定期間 8月～10月 実施時期、方法についてはJEANと調整。希望があれば通年参加可能。
- (2) 参加を広報。
- (3) 1グループ当たり一律3千円の支援費を想定。
- (4) 現在の諸事情を鑑み、家庭でも取り組める「家でできるクリーンアップ活動」の実施。
外でのゴミ回収・調査ができない時でも、ホームページ上に簡単にカウントできるシートを掲載し、家庭でどんなごみ多いかを数えることでゴミ削減、環境問題啓発につなげる。
※カウント報告、支援費はなし。 クリーンアップ・キャンペーンまでの啓発として実施。
- (5) イベントとのコラボレーションを継続して実施する。スポGOMI大会や海岸漂着物問題普及啓発事業との併催推進。
- (6) クリーンアップ全国事務局、全国川ごみネットワーク主催の「全国水辺のごみ調査」へ情報提供にデータを提供する。 4月～11月実施中 ※回収はせず、カウントのみでも報告可能とする。

3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」

- (1) スポGOMI大会の開催 別紙 2
海岸漂着物問題対策の普及啓発等として、県内各地で市町村や地域の団体等と連携して開催する。
- (2) 海岸漂着物問題普及啓発出張講座
「身近な川や水辺の健康診断」等の実施にあわせて期間を長く設け、小中学生等に対して出張講座を行う。
- (3) 商業施設等での海岸漂着物問題の普及啓発の実施
会場を屋外にする、パネルや見本の展示を中心に行うなど、状況を見て密集した環境を避けた実施を検討する。
- (4) 環境紙芝居の動画作成、ゴミ回収体験やパネルや標本を活用した環境教育プログラムの推進
- (5) 山形県海岸漂着物推進協議会との連携
7月3日(金) 令和2年度山形県海岸漂着物対策推進協議会総会に出席予定。
- (6) 川ごみ団体との連携
- (7) 海と日本プロジェクト in 山形実行委員会・ドリーム里山プロジェクトへの参加
6月23日(火) 実行委員会・総会出席予定。
- (8) ホームページ「最上川環境マップ」の整備
美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン、スポGOMI大会の予定や結果を随時更新し、実施場所の効率化を図る。

4 報告書「笑顔を写す山形の川」

- (1) 身近な川や水辺の健康診断、美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーンの結果報告として、ホームページにデジタルブックとして掲載し、WEB上で報告する。
- (2) 「身近な川や水辺の健康診断」については、全県の結果を1枚の河川地図上に表した概要版を印刷作成し、翌年度の案内の際に実施団体や学校等へ配布する。

5 広報啓発

- ・環境展のブースへの出展等の機会を活用し、清流・環境対策部会事業や当フォーラムの活動の広報、環境保全の啓発に努める。展示内容についてはコロナウィルス感染防止策を検討する。

1 最上川夢の桜街道づくり

- (1) 維持管理等の相談に関して、全市町村・継続団体に対して要望調査を行い、樹木医を派遣する。
- (2) 桜守育成のための研修会「桜守養成講座」、地域資源としての桜を活かすための研修会等を地域部会と連携して開催する。緑化推進事業助成金活用。
桜守養成講座 開催予定 6月 鶴岡市、12月6日(日) 金山町、日程未定 天童市
- (3) 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」
「東北・夢の桜街道推進協議会」メンバーとして、桜をシンボルに東北の復興を目指した運動を継続して行っていく。
- (4) 県内の桜の名所や地域で愛されている桜を SNS で紹介。インスタグラムなど SNS を活用した多言語での最上川・山形の桜の魅力を県内外、国外へも発信していく。

2 「夢の桜街道～さくら物語～」

- ・事業報告を主とした機関誌として作成し、Web Paper でホームページ上に掲載する。

3 夢の桜街道キャンペーン

- (1) 協賛金融機関のご協力により、会員募集案内の掲示をいただく。(時期は6～8月頃) ※時期延長検討
- (2) 会員募集や事業広報のため、ホームページの活動案内にアクセスできるQRコードを入れた名刺サイズのカードを活用する。役員用名刺の裏面にもQRコード、活動内容を記載し、活動内容紹介、会員募集に協力いただく。(データについては事務局へ)

4 写真コンテスト受賞作品写真展

- (1) これまでの写真コンテスト入賞作品の貸出しを希望者に対して随時行う。
- (2) 「～夢の桜街道～写真と灯りの展示会」
 - ・「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヶ所巡り」の紹介、桜の維持管理事業の啓発も兼ねた展示会を行う。(3月から引き続き)
 - ①3月28日(土)～4月3日(金) 甌葉プラザ(村山市)1階ロビーにて開催。
 - ②4月4日(土)～4月20日(月) 寿屋壽香蔵(東根市)にて開催。
- (3) イベント会場での出展の機会を利用し展示する。

5 ホームページの更新

- ・活動予定や報告などを中心に掲載し、見やすいよう随時更新していく。
- ・イベントの告知や会員の交流などに活用していただけるよう、当フォーラムの活動に参加している企業や団体等皆様の活動をご紹介する「会員ニュース」のコーナーを新たに設ける。

6 地域おこしの紙芝居作成

- (1) 2019年度に作成した海岸漂着物紙芝居の上映や貸し出しなどの発信と動画、英語版作成、海岸漂着物問題啓発事業での活用による広い活用。
- (2) 2019年度より継続して、村山・置賜地域部会の連携により、最上川にまつわる紙芝居の製作(大石田町)と製作に向けての取材(村山市)。
- (3) 10作品完成に向けて、これまで製作して来た紙芝居の活用法やフォーラム開催等の検討。

地域部会

◇置賜地域部会

- (1) 村山地域部会と連携した紙芝居づくり (P 4 6 「地域おこしの紙芝居作成」の項目参照)
- (2) 身近な川や水辺の健康診断の調査サポート等への協力
- (3) スポ GOMI 大会への協力

◇村山地域部会

- (1) 「～夢の桜街道～写真と灯りの展示会」開催
3月から引き継ぎ開催。
 - ①3月28日(土)～4月3日(金) 甌葉プラザ1階ロビー (村山市)
 - ②4月4日(土)～4月20日(月) 寿屋壽香蔵 (東根市)
- (2) 桜の維持管理活動への協力(天童市)
- (3) 村山地域で開催されるスポ GOMI 大会へスタッフとして参加協力
- (4) やまがた環境展出展の際はスタッフとして参加協力
- (5) 身近な川や水辺の健康診断の現地調査サポートを調査団体の要望に応じ実施する。
- (6) 置賜地域部会と連携した紙芝居づくり (P 4 6 「地域おこしの紙芝居作成」の項目参照)

◇最上地域部会

- (1) もがみの湧水調査会
山形県で実施している「里の名水山形百選」への応募の働きかけを行う。
- (2) スポ GOMI 大会への参加協力
- (3) 桜を守り育てる研修会開催
 - ①戸沢村にて開催予定(10～11月)
 - ②12月6日(日)金山町にて開催予定。

◇庄内地域部会

- (1) 身近な川や水辺の健康診断
調査者の要望に応じて調査サポートの実施をする。
- (2) スポ GOMI 大会の開催
- (3) 桜の育成維持管理研修会
地域の要望に沿った形で開催を検討する。
- (4) 「内川学フォーラム」の共催
2019年度3月から延期になっている「内川学フォーラム」を翌年に開催予定。

※地域部会のスポ GOMI 大会サポートについては、別紙1参照

総会・運営委員会・部会

通常総会(不開催)、運営委員会(6月(書面決裁)、11、3月)、合同部会(11、3月)

その他 委託事業・助成事業・連携事業など

- (1) 山形県委託事業
 - ・事業名：令和2年度川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務
スポ GOMI 大会開催、海岸漂着物問題普及啓発出張講座、商業施設等での海岸漂着物問題の普及啓発の実施
- (2) 山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加
- (3) 東北・夢の桜街道推進協議会のメンバーとして「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヵ所巡り」の推進
- (4) 全国川ごみネットワークとの連携
- (5) 国、県や企業・団体とのコラボレーション事業など連携の強化
普及啓発活動の推進等
- (6) 各種助成事業・基金等への応募や、寄付などの獲得、その内容に応じた事業を展開し活用を行う。
 - ・やまがた社会貢献基金「協働助成事業（テーマ希望型）」※申請中
テーマ名：テルス(株)川と海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」
マイクロプラスチックの回収体験 WS、環境紙芝居を基にしたミニブックの作成・配布、環境紙芝居の日本語、英語版の動画作成等による発信
 - ・やまがた社会貢献事業「県政課題部門」※申請中
湧水を活用した地域活性化等
 - ・緑化推進事業（山形県みどり推進機構）
桜研修会の開催
 - ・わかば基金（NHK 厚生文化事業団）※申請中
最上川に関する紙芝居の作成、日本語・英語版の動画作成
 - ・水環境保全助成事業（全国浄化槽団体連合会）※申請中
身近な川や水辺の健康診断の実施
 - ・テレビユー山形(株) 海ゴミマスターズ in 山形実行委員会 Change for the blue 委託事業
※調整中
 - ・スポ GOMI 大会協賛（一般社団法人生命保険協会山形県協会）

※敬称略